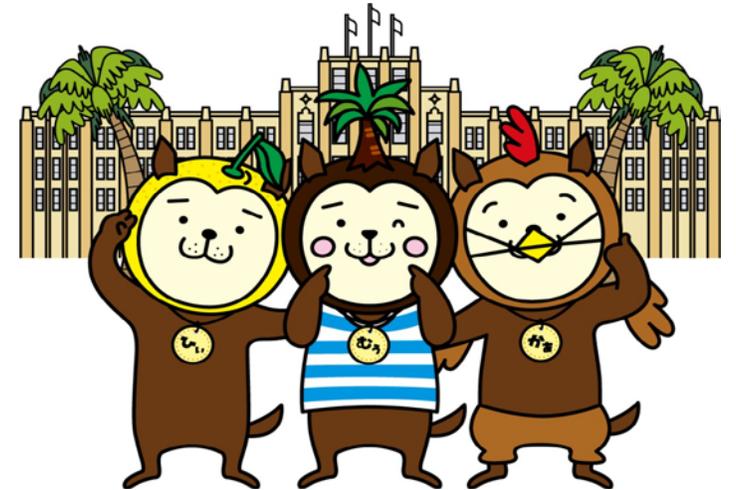


令和4年度 小・中学校外国語教育研修

<演習2-1>

小・中の接続を意識した
「話すこと[やり取り]の指導の在り方」



中学校での指導例

これは言語活動でしょうか。

言語活動とは

「実際に英語を用いて互いの考えや気持ち
を持ちを伝えあう活動」

言語活動を通して

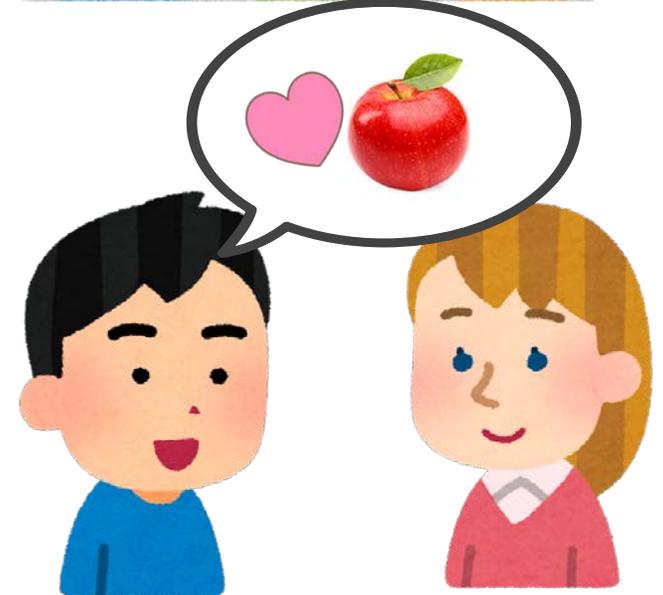
練習

英語を用いているが、考えや気持ちを伝え合うという要素がない活動

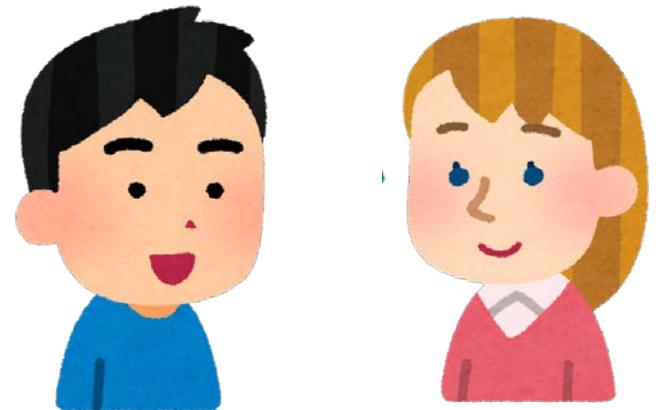


言語活動

「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う」活動



「話すこと[やり取り]」の指導の実際 小学校



単元計画例 NEW HORIZON Elementary 第5学年

Unit3 「What do you want to study?」

主な単元の目標

自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、学びたい教科やなりたい職業について、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。

単元ゴール

夢に近づくための時間割をクイズで紹介し合い、
友達の夢をおうえんしよう。

必然性

本物

相手意識

意義・楽しさ

NEW HORIZON Elementary 第5学年 Unit3 「What do you want to study?」

時間	本時の目標（主な活動）	記録に残す評価
1	単元のゴールを知り, 学びたい教科や職業を工夫して伝え合おう。 (・ゴールを知る・映像教材の視聴・教科の言い方・ <u>やり取り①②</u>)	
2	学びたい教科や職業について, 工夫して伝え合おう。 (・教科や職業の言い方・映像教材の視聴・ <u>やり取り③④</u>)	
3	学びたい教科や職業について, 工夫して伝え合おう。 (・Small Talk・語の復習・Let's Listen 1・ <u>やり取り⑤⑥</u>)	
4	学びたい教科や職業について, 工夫して伝え合おう。 (・語の復習・Let's Listen 2・ <u>やり取り⑦⑧</u>)	聞く(知・技) Let's Listen2
5	夢に近づく時間割や将来の夢を工夫して伝え合おう。 (・Small Talk・時間割の決定・ <u>やり取り⑨⑩</u>)	
6	夢に近づく時間割や将来の夢を工夫して伝え合おう。(グループ発表)	
7	夢に近づく時間割を工夫して伝え合い, 友達の夢を応援する。 (「What's my dream?」クイズによる発表。)	話す(知・技)(思・判・表) 【発表】
8	世界の子ども達の夢と自分の夢を比べて考える。	

やり取り(※中間指導)で必要な表現を習得する。

単元のゴールは発表!

「話すこと[やり取り]」の指導の進め方

- ① 教師のやり取りを聞く。(デモンストレーション)
- ② やり取り1 ～ 少ない情報でやってみる。
- ③ 中間指導 ～ 困り感を全体で解決したり、よかった点を全体で共有したりする。
- ④ やり取り2 ～ ペアを変えて, もう一度やってみる。

実際の中間指導の様子を見てみましょう。

中間指導の例

- 答えをすぐ教える。
- 自分で考えさせずに、タブレットですぐに調べさせる。



見方・考え方を
働かせていない!

中間指導の例

- 知っている語や表現から引き出す。
- みんなで解決して共有する。
➡ 質問した児童に言わせましょう。
- 必要感をもって、練習させる。



見方・考え方を
働かせる!

中学校でも言語活動をしながら 英語を学ばせましょう。

ポイント

- ・先生が英語を使って話してみせる。
- ・生徒同士に話をさせる。先生は生徒の活動を観察する。
- ・中間指導で、文法を押さえたり、よい表現を紹介したりする。
- ・少しずつ、内容を充実させるよう、中間指導を行う。

小学校のSmall Talk

高学年の活動

2時間に1回程度

「話すこと[やり取り]」の力を育成する

5年生 → インプット中心
教師と児童とのやり取り

6年生 → 話題を提供
児童同士のやり取り

やり取り1 → 中間指導 → やり取り2

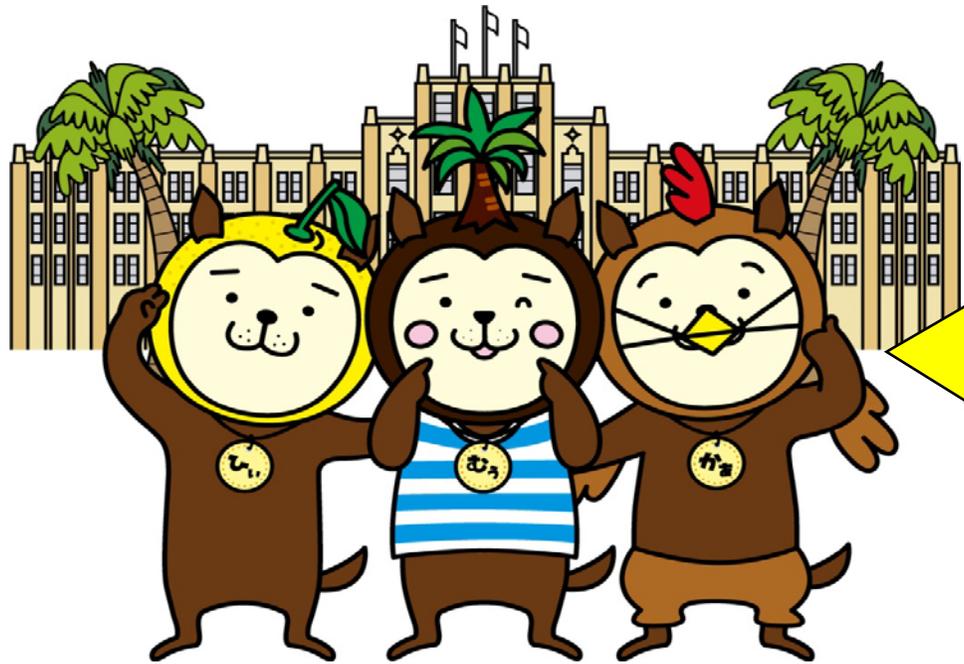
Small Talkの目的

対話の続け方を指導すること。

既習表現を繰り返し使用できるようにして、その
定着を図ること。

対話を続けるための基本的な表現例

対話の開始	対話の始めの挨拶 Hello. / How are you? / I'm good. How are you? など
繰り返し	相手の話した内容の中心となる語や文を繰り返して確かめること 相手:I went to Tokyo. 自分:(You went to) Tokyo. など
一言感想	相手の話した内容に対して自分の感想を簡単に述べ、内容を理解していることを伝えること That's good./ That's nice./ Really?/That sounds good. など
確かめ	相手の話した内容が聞き取れなかった場合に再度の発話を促すこと Pardon? / Once more, please. など
さらに質問	相手の話した内容についてより詳しく知るために、内容に関わる質問をすること 相手:I like fruits. 自分:What fruits do you like? など
対話の終了	対話の終わりの挨拶 Nice talking to you. / You, too. など



Thank you for listening.